

# ISDA® JAPAN MONTHLY UPDATE

2017年3月

## コミッティ活動

**REGULATORY:** 担当 森田 ([tmorita@isda.org](mailto:tmorita@isda.org))

### VM ビッグバン

3月14日、金融庁は、3月1日、グローバルに施行された、清算されないデリバティブ取引にかかる、新たな変動証拠金規制に関する [メモ](#)（日本語のみ）を公表した。概要は以下の通り。

金融庁は、全ての金融機関に対し、変動証拠金にかかる規制を満たすために万全を尽くすよう求める一方、変動証拠金規制が導入されていない法域にある相手との取引の場合には、規制を満たすことに困難が生じる可能性があることを認識している。

そのような場合、個々の金融機関が規制遵守を目的として取引相手とのリスク削減のために適切な手段をとり、規制に対応する努力を継続する場合には、本邦金融庁は当面の間、証拠金規制に基づく適切な体制を構築することで規制基準を満たしている、とみなす。

金融機関は取引相手のエクスポージャーを管理するなど、関連取引の残余リスクに適切に対処することが求められている。

関連資料として、3月1日付変動証拠金規制に関する移行期間、救済策、ガイドライン等のサマリーを、ISDA ウェブサイトの [ISDA WGMR Implementation Initiative page](#) に掲載。

### 日本円ベンチマーク・フォールバック・ワーキンググループ

3月27日、ISDAはメンバー間でのミーティングを開催し、主に、2月28日、3月14日にそれぞれ開催されたISDA USD/GBP/EUR/CHF ベンチマーク・フォールバック・ワーキンググループの電話会議での内容に関するアップデートを行った。

ミーティングでは、マトリックスの詳細、代替となるフォールバック、スプレッドの平均値の計算方法、データの確認を行うためにより多くの参加者による試算が必要であること等、ISDA USD/GBP/EUR/CHF ベンチマーク・フォールバック・ワーキンググループの直近の電話会議で検討されたオーバーナイト・レートのターム・ストラクチャー・スプレッドの試算全般に関して、異なる観点から検討が行われた。

**DATA & REPORTING:** 担当：洞口 ([khoriguchi@isda.org](mailto:khoriguchi@isda.org))

3月15日、ISDAは、UTIのテクニカル・ガイダンスとFSBが公表したガバナンス協定案で述べられている既存の市場慣習を発展させ、UTIのグローバルでの導入促進の検討を目的とした2週間毎の、グローバルでの共同電話会議を開始した。

#### 1. CPMI-IOSCO Guidance on the Harmonisation of the UTI

3月24日、金融庁のホームページに3月3日に掲載された、BIS決済・市場インフラ委員会と証券監督者国際機構代表理事会による公表のテクニカル・ガイダンス「[固有取引識別子 \(UTI\) の調和](#)」に関するプレス情報をメンバーに配布、グローバルでの規制要件として当局が考慮すべき、実質的な問題点について、意見募集を行った。

グローバルでの統一されたUTIsは、各国の当局が法的拘束力と健全性の要求に利用でき、複数の情報蓄積機関に渡って報告されるOTC取引データのグローバルでの集約と分析を促進する。

報告書は、UTI利用者のニーズに応えた、UTIの定義、形式、利用方法からなる、当局へのテクニカル・ガイダンスとなっている。ガイダンスはまた、適用可能な関連する国際的なテクニカル・スタンダードに基づいており、グローバルで釣り合いのとれるものとなっている。

2014年の実現可能性調査の結果から、金融安定理事会は、BIS決済・市場インフラ委員会と証券監督者国際機構代表理事会に対し、UTIとUPIsを含む、取引情報蓄積機関に報告される、また、当局によるデータの集約に重要なデータ要素の調和に関するグローバル・ガイダンスの作成を要求した。

## 2. FSB Consultation on Proposed Governance Arrangements for the UTI

3月24日、ISDAは、2017年5月5日を意見募集の締め切りとする、金融安定理事会がウェブ上に掲載した「[固有取引識別子（UTI）のガバナンス協定案](#)」についてのプレスリリースを回覧した。協定案は、OTCデリバティブ取引市場での取引データの有効的な集約を促進することを目的とした、主要な調和のとれた識別子としてのグローバルUTIのガバナンス・アレンジメントの提案について述べている。

**CREDIT DERIVATIVES:** 担当：森田 ([tmorita@isda.org](mailto:tmorita@isda.org)) / 洞口 ([khoriguchi@isda.org](mailto:khoriguchi@isda.org))

### DC 新メンバー

3月31日、ISDAは2017年のDeterminations Committees (DCs) のメンバーを決定する本年の選出プロセスの結果について、プレスリリースを発表した。DCsは、入手可能な公開情報とISDAクレジットデリバティブ定義集で述べられている法的状況を比較検討することにより、クレジットデリバティブ市場におけるクレジットイベントの発生の有無について決定することに責任を有する。

[DCルール](#)と2017年4月29日からDCsとして活動する機関はDCsウェブサイト：<http://dc.isda.org>で閲覧可能。

## コミッティ並びに作業部会会合/コンファレンスの予定

<b>JPY Benchmark Fallback Working Group</b> (日本語による会議)	4月24日
<b>Overview &amp; Implications of Final Basel Capital Rules</b> (英語と日本語によるセミナー)	4月12日
<b>Japan Collateral Working Group</b> (日本語による会議)	4月17日
<b>Japan Trust Bank's Fund Account Sub-Working Group</b> (日本語による会議)	tbd